

# 学校だより

Vol. **94**  
2013.4

## Contents

- 02 卒業式・専攻科修了式告辞
- 04 祝 卒業・修了
- 17 卒業生・修了生の進路
- 18 学生会
- 19 創立50周年記念事業
- 20 全国高専ロボコン
- 21 磐陽祭
- 22 プロコン・デザコン・ブレコン・  
グランド改修
- 24 クラブ活動等の結果
- 27 退職者・新任教職員紹介
- 30 震災復興関連





# 第8回専攻科修了証書授与式・ 第47回卒業証書授与式

## 第8回専攻科修了証書授与式・ 第47回卒業証書授与式 告辞

福島工業高等専門学校 校長 奈良 宏 一



修了生・卒業生諸君、修了・卒業おめでとうございます。また、保護者・ご家族の皆様、大変おめでとうございます。

本日、ここに、多数のご来賓と、修了生・卒業生の保護者の皆様のご臨席をいただき、第8回専攻科修了証書授与式並びに第47回卒業証書授与式を実施できますことは、教職員一同、誠に慶びとするところであります。ご多用中にもかかわらずご出席いただきましたご来賓の皆様ならびに保護者の皆様に厚く御礼申し上げます。

本日、本校を巣立つのは、専攻科の、機械・電気システム工学専攻8名、物質・環境システム工学専攻10名、ビジネスコミュニケーション学専攻5名の専攻科修了生計23名、並びに、本科生として、機械工学科42名、電気工学科39名、物質工学科38名、建設環境工学科43名、コミュニケーション情報学科35名の計197名です。本年度も、専攻科修了生は、全員、学士の学位を授与されています。

修了生・卒業生の諸君、諸君がここに晴れて卒業式を

迎えることができるのは、これまで、日々の勉学に精進を重ねてきた結果です。諸君のこれまでの努力に敬意とお祝いの気持ちを表したく思います。また、本日の諸君があるのは、ご家庭の皆様の愛情と、教職員の熱心な指導のお陰でもあります。改めて、このことを思い、諸君を育ててくれた皆様すべてに、感謝の気持ちを持っていただければ幸いです。

修了生・卒業生の保護者・ご家族の皆様には、本日で卒業のお子様をこのように立派に育て上げられましたことに敬意を表しますとともに、心からお祝いを申し上げます。誠におめでとうございます。

福島高専は、2012年に創立50周年を迎え、10月にその祝賀会を催したところです。本年、修了または卒業する皆さんは50周年記念の年に高専での最終学年を迎えたこととなりますので、将来にわたり、思い出として残るものと思います。諸君は、通常の六三三四と進学していく日本の教育システムとは異なる六三五二という教育体系で、中学校を卒業後、すぐに専門教育を受ける形の勉強をしてきました。このような通常の教育体系とは少し異なる形態の専門教育を行う高等専門学校という学校種が50年以上継続し、また、国内企業ばかりではなく、OECDによる調査などを含め世界から賞賛されている理由は、高専が早期の実践的な専門教育を提供しているということばかりではなく、学生やその保護者と教職員との距離が極めて近い関係の中で施される、相互信頼に裏打ちされた質の高いきめ細かな教育がなされてきたことにあるものと考えています。さらに、社会の変化に素早く対応して、JABEE認定など、教育の質を改善し続けてきたことにもあるでしょう。本校で、このような質の



高い教育を受けてきた諸君は、十分に、社会での競争に打ち勝つだけの実力と人間性を身につけています。自信を持って、社会で、または、大学で活躍して下さい。

さて、日本は、今、世界でも例がない高齢化社会を迎え、かつ、経済も低迷を続けています。さらに税収不足から国家予算の半分近くを借入金でまかなわねばならなくなっています。このようなピンチの日本を東日本大震災が襲い、さらに、福島県は原子力発電所事故による被害にも悩まされています。諸君がこれから船出する福島県や日本の社会は、今、極めて厳しい状況にあると言わねばなりません。しかし、見方を変えて、この厳しい状況を逆に新産業創出などの飛躍のチャンスとして捉え、危機に立ち向かう前向きな姿勢も大事です。高齢化社会を支える新しいアイデアの介護ビジネス、高齢化社会ばかりではなく原子炉の廃炉にも必要なインテリジェントなロボットの技術、iPS細胞を利用した製薬技術やバイオ技術、さらに、新材料技術や原子力に変わる新エネルギーの利用技術など、現在の厳しい状況を吹き飛ばすかもしれない新しい技術の芽はそこここにあります。これらの芽を開花させるためには、諸君の若い活力と叡智が必要です。新しい技術はこれまでの社会のあり方を変え、さらなる進歩を促します。なぜなら、過去の考え方を超えた新しい発想と、それを実現に導く若いパワーが新しい産業を創出し、人々の生活スタイルを変えてきた歴史があるからです。諸君の大多数が携わる工業分野でも、古い発想のモノづくり技能からだけでは、現状維持を越えることは出来ません。過去の技術や技能の継承は重要ですが、日本が世界の技術の最先端を走る今、過去の技術の模倣や改善・改良だけでは、世界にすぐには追いつき追い越されてしまいます。過去の技術を十分に知

りそれを超えた新しい発想による人智未踏のアイデアを次々に繰り出さねば、この厳しい状況から脱することは困難と考えねばなりません。新しい発想は、問題に突き当たる毎に、その対象が本来あるべき姿を考え、関連する過去の技術を十分に理解・咀嚼した上で、新技術を加えて、問題を解決に導く新しいひらめきを繰り出す努力をして初めて得られるものです。常に問題意識を持ち、かつ、自らの専門能力を研ぎ澄ましていなければ望むべくもありませんが、これは一朝一夕にできるものではありません。ゲーテの言葉に「急がずに、休まずに」という言葉があります。卒業後も、休むことなく、じっくりとかつ継続的に自分の専門分野を磨き上げて下さい。その上で繰り出される諸君の発想が、東日本大震災で疲弊した地域や日本のこの厳しい状況を打破し、活力ある国を作る基となります。本日までに、諸君が本校で身につけた十分な基礎力に基づく創造性と実践性、そして、寮やクラブ活動などで培った人間力は、諸君の実力を、人類の未来を変える程の発想を生むレベルまで磨き上げるための基礎として十分なものです。今後の諸君の活躍を大いに期待しています。

修了生や卒業生諸君のこれからの人生においては、順風満帆な日々ばかりではなく、さまざまな苦難に直面することも多々あるかもしれません。しかし、諸君は、あらゆる難問・難題を克服して自らの人生を切り開くことが出来るだけの力をこの福島高専で得ています。自らに自信を持って、健康に留意し、すばらしい人類の未来を築いて行って下さい。

最後に、諸君のこれからの人生が幸多いものであることを祈念して告辞と致します。

# 機械工学科



Department of **Mechanical Engineering**

## 機械工学科第47回卒業生に贈る言葉

機械工学科 5年担任 松尾 忠利

「行ってらっしゃい」福島高専で経験した、たくさんの思い出を胸に、光輝く新しい世界への扉を開けて旅立とうとしている皆さんへ、臆の言葉を贈ります。

大学時代の恩師に「Bodyを鍛えろ」と、仰っていた先生がいます。当時は、健康でなければ、勉強も仕事もできないのだと解釈していました。最近では、スポーツカーもベースとなるBody(車体)がしっかりしていないと、いいエンジンを積んでも速く走らせることができないのと同様に、人間もBodyを鍛えないと、しっかりした生き方ができないのだと考えるようになりました。

就職・編入学試験等で苦労した人の中には、震災が無ければ、不景気で無ければと、考えた人がいるかもしれませんが、自分を鍛える貴重な試練

だったと思ってください。「容易な道を選んではならぬ。近道を選んではならぬ(有島武郎:大いなる健全性)」と、自分自身を鍛える選択をしてください。人に勝つことよりも自分に負けない人間を目指し、自分のためにだけでなく、人のために汗と涙を流せる人間になって欲しいと思います。

何かニュースがあったら(無くてもかまいません)、時間ができた時に「ただいま」と言って研究室のドアを開けて、報せに来てください。

最後になりましたが、力不足な担任と未熟な学生に対して、常に激励と適切なご指導をいただいた、機械工学科をはじめ多くの教職員と保護者の皆様へ、心より感謝申し上げます。

# 機 械 工 学 科

機	械	工	学	科
<p>佐藤 慎之介</p> <p>5年間とても楽しかったです。ありがとうございます。</p> <p>鈴木美穂</p>	<p>伊藤 春司</p> <p>このクラスで幸せでした。</p> <p>池田 和史</p>	<p>二瓶 大</p>	<p>北澤 春樹</p> <p>今までお世話になりました。これから頑張ってください。</p> <p>渡邊 裕幸</p>	<p>齋藤 智也</p> <p>みんなの協力のおかげです。</p> <p>川石</p>
<p>あ</p> <p>飯島 渉</p> <p>松尾先生にはお世話になりました。</p> <p>あと2年がんばる!</p> <p>穴内 亮典</p> <p>いろいろあり、楽しい5年間でした。特に高専が、良いことも悪いこともいろいろ経験できました。</p> <p>志賀 近</p>	<p>り</p> <p>よ</p> <p>鈴木 暢希</p> <p>5年間とても楽しかったです! 2年はいわきに11るのでみんな帰ってきたらあそびましょう!</p> <p>吉田 悠輝</p> <p>いやー5年間あっていう間だったね。</p> <p>桑嶋 隆</p>	<p>か</p> <p>う</p> <p>紅丸 秋彦</p> <p>5年間、いろいろ面で勉強になりました。これから頑張ってください。</p> <p>矢野 和知</p>	<p>と</p> <p>な</p> <p>村上 和誠</p> <p>人より1年多い高専生活だったけど、その分楽しかった! ありがとう</p> <p>猪狩 あゆみ</p> <p>Year 5年間 of いうまた、たね~</p> <p>柳内 勇人</p>	<p>う</p> <p>ら</p> <p>川口 啓 幸佑太</p> <p>5年間お世話になりました。またいつの日にか会いましょう</p> <p>会田 崇人</p> <p>あつという5年間 ありがとう</p> <p>中村 晃大</p>
<p>お祝い楽しかったです。</p> <p>Goodbye hooray!</p> <p>佐藤 倉</p> <p>お疲れ様。ありがとうございます。さようなら</p> <p>石井 裕也</p> <p>学ぶことの多い5年間でした。ありがとうございます。ごぞいしました。</p> <p>小野 裕子</p>	<p>5年間お世話になりました。これからよろしくお願いいたします。</p> <p>吉田 匠</p> <p>多くのことを学びました5年間でした。ありがとうございます。</p> <p>曲山 正敏</p> <p>あつという間の5年間でした。 ありがとうございます!</p> <p>高橋 大地</p>	<p>5年間あつというまじでした。楽しかった。今後も頑張ってください!</p> <p>鈴木 剛志</p> <p>7年間ほんとに長かった。いろいろとお世話になりました</p> <p>田中 弘樹</p> <p>楽しい生活を ありがとう!</p> <p>山崎 悟</p>	<p>5年間 ありがとう。ごぞいしました。地元に残ってるからみんなよろしく~!!</p> <p>鈴木 諒平</p> <p>5年間男からだけで楽しかったです。また、会いましょう。</p> <p>鈴木 悠一郎</p> <p>休学も含め28年間、優しく受け入れてくれた先生や友達、校舎に謝意の意を表します。今までありがとうごぞいしました! 三浦 大生</p> <p>柳 沢</p> <p>LOVE</p> <p>宏 太郎</p>	<p>5年間いろいろとお世話になりました。ありがとうごぞいしました</p> <p>三瓶 一真</p> <p>色々ありますが充実した5年間でした。 ありがとう。</p> <p>池田 祥</p> <p>長いようで短い5年間でしたがとても楽しい学校生活でした。今後がんばっていきたいと思います。 小泉 裕貴</p> <p>2年間お世話になりました。ありがとうございます</p> <p>坂内 菜都美</p>

# 電気工学科



## Department of Electrical Engineering

### 我がクラスに贈る言葉

電気工学科 5年担任 濱崎 真一

振り返ってみると、5年という年月があっという間に過ぎ去ったと感じていることだろう。

私の君たちに関わった3年間は、一瞬だった。瞬く間に、君たちは私の前を通り過ぎて行く。寂しくも思うが、喜ばしく思うべきなのだと自分自身に言い聞かせている。

思えば、かなり強引で、かつ適当なクラス運営をしてきたと思う。汚い言葉で君らを罵ったことも多々あったと思う。ただ私にしてみれば、君たちには「いい人間」ではなく、「頑固な、くそ親父」と思われることを期待していた。私には君たちがかわいく思えて仕方がなく、だからこそ「くそ親父」ありたいと思っていた。そんな親父の最後の説教だと思って、聞いてくれ。

これから君らが歩む道に壁と思える苦難があるかもしれない。そんな時、「助けて」と言える仲

間を作っておいてほしい。もし仲間もないのなら、ちょっと見方を変えて考えればいい。視野を狭くするような生き方だけはしてほしくない。

だから、生き方は多少不良の方がいい。気負わず、肩肘張らずに気楽に生きていくべし。見栄を張って、背伸びをする生き方ほど苦しい生き方はない。好き好んで、その道を選ぶなら止めやしないが、あえて「自分に正直であれ」と言いたい。自分が今、本当は何をしたいのか、自分に嘘をつかない生き方を目指してほしい。もし、正直に生きてきて、「バカ」と言われたのならば、それは誇っていい「バカ」なんだと私は思う。

まだ言いたいことは沢山あるが、ここで筆を置く。話が聞きなくなったら、土産でももって遊びにきてくれ。

また、会おう。

# 電気工学科

5年間この学生生活がびびりおたびです。本当にありがとうございます。ごぞいまして。 吉渡 穂高	5年間学生生活を楽しく過ごせました。本当にありがとうございます。ごぞいまして。 伊藤 孝樹	7年間の充実した学生生活をありがとうございます。ごぞいまして。 博多 大樹	5年間楽しく過ごせました。 ありがとうございます。ごぞいまして。 藤原 悠	
5年間学生生活を楽しく過ごせました。本当にありがとうございます。ごぞいまして。 渡邊 晃史	5年間学生生活を楽しく過ごせました。本当にありがとうございます。ごぞいまして。 川崎 大輝	5年間学生生活を楽しく過ごせました。本当にありがとうございます。ごぞいまして。 佐藤 大輝	5年間学生生活を楽しく過ごせました。本当にありがとうございます。ごぞいまして。 鈴木 隆太郎	2年間学生生活を楽しく過ごせました。本当にありがとうございます。ごぞいまして。 石田 泰平
5年間学生生活を楽しく過ごせました。本当にありがとうございます。ごぞいまして。 森下 潤助	5年間学生生活を楽しく過ごせました。みんな大好きです。でも、ソウゴウがもも、と好きです。熊倉	みんなとイック発電所の思い出はわすれられません。山田先生に工学地で怒られたことは材料で感謝。 芳賀 勇太	5年間学生生活を楽しく過ごせました。本当にありがとうございます。ごぞいまして。 芳賀 勇太	5年間学生生活を楽しく過ごせました。本当にありがとうございます。ごぞいまして。 久下 慎
5年間学生生活を楽しく過ごせました。本当にありがとうございます。ごぞいまして。 相川 恭汰		5年間学生生活を楽しく過ごせました。ありがとうございます。ごぞいまして。 大和田 卓哉		5年間学生生活を楽しく過ごせました。本当にありがとうございます。ごぞいまして。 本田 有希
5年間学生生活を楽しく過ごせました。本当にありがとうございます。ごぞいまして。 松本 裕未	5年間楽しい生活をありがとうございます。ごぞいまして。この時間と、みんなの縁はと比大切な思い出です。 大和田 誠人		無事に5年間で卒業できました。みんながみんなみんなと勉強できて嬉しかった。途中で消えた人を見つけてみんなと一緒にいっしょに勉強。 横山 光人	5年間学生生活を楽しく過ごせました。本当にありがとうございます。ごぞいまして。 友常 裕太
5年間楽しい学生生活を送ることができました。ありがとうございます。ごぞいまして。 遠藤 優太		5年間学生生活を楽しく過ごせました。ありがとうございます。ごぞいまして。 利工 倫太郎		5年間学生生活を楽しく過ごせました。本当にありがとうございます。ごぞいまして。 阿部 直樹
5年間楽しい学生生活を過ごせました。本当にありがとうございます。ごぞいまして。 上遠野 崚	5年間楽しかったです。あ、この間でした。ありがとうございます。ごぞいまして。 大和田 慧	5年間学生生活を楽しく過ごせました。ありがとうございます。ごぞいまして。 大槻 俊勝	5年間と1年学生生活を楽しく過ごせました。ありがとうございます。ごぞいまして。 大森 敏貴	5年間学生生活を楽しく過ごせました。本当にありがとうございます。ごぞいまして。 小野 壮郎
5年間楽しい学生生活を過ごせました。本当にありがとうございます。ごぞいまして。 松本 涼佑	5年間楽しい学校生活を過ごせました。みんな本当にありがとうございます。ごぞいまして。 ♡作山 史江♡	とび楽しい年間でした。本当にありがとうございます。ごぞいまして。 家のこと、忘れません。同窓会がどうか、いろいろ。 大内田 優理	5年間学生生活を楽しく過ごせました。本当にありがとうございます。ごぞいまして。 江尻	5年間学生生活を楽しく過ごせました。本当にありがとうございます。ごぞいまして。 菅野 志太
5年間楽しい学生生活を送ることができました。レポートも機嫌です。またお会いしましょう。 虫又田 侑平	5年間楽しい学校生活を過ごせました。本当にありがとうございます。ごぞいまして。 柏原 伸也	かんなと行、た学は行。春日の旅行とても楽しかったです。2人でいって退校まで、途中、いなくなると良かったと思っ。 鈴木 智司	5年間学生生活を楽しく過ごせました。本当にありがとうございます。ごぞいまして。 鈴木 大智	5年間学生生活を楽しく過ごせました。本当にありがとうございます。ごぞいまして。 永山 昌輝

# 物質工学科



Department of **C**hemistry and **B**iochemistry

## 自分の道を切り開け

物質工学科 5年担任 青木 寿博

高専での5年間は、旅に例えれば、ガイドに先導され、既に整備された道路や航路、海路のみを使ったパック旅行に参加したようなものであろう。

自分の道と言っても、卒業してすぐに、いきなり未開の地へ分け入ったのでは遭難するだけだ。まずは、ガイド無しで一度通った道を辿ってみるのもいいだろう。あるいは、地図を持った上で、これまで通ったことのない道へ進むのもありだろう。その次には、地図なしで…とか、舗装されていない道を…獣道を…というように徐々に条件を厳しくしていけばいい。

こうしてある程度、経験を積み自力で進むための基礎技術が身に付いたら、それを自分なりに再構築した方がいいだろう。そのためには、一度築

いたものを壊す勇気も必要だ。何度も壊し、何度もつくりなおせばいい。その方がいい道具ができる。

ひたすら自分の型をつくる努力を積み重ねていけば、いつか必ず“自分の道”が、ぼんやりとではあるが、自然に浮かんでくる。そこを切り開いていけばいい。とはいっても、そのままどんどん先へ進むのは危険だ。何度も何度も元の位置と道の先端との行ったり来たりを繰り返し、別ルートも開拓しつつ、道を太くし、分岐点には道標を残しながら、ゆっくり進めた方がいい。

そうしてできた道は、自分がいなくなった後も、いつか必ず、誰かがその先を切り開いてくれる。



# 物質工学科

	<p>④人々が私を助けてくれた。私も、お礼を言わなきゃならない。</p> <p>私教</p>	<p>5年間ありがとう ご一緒した ここからスタートした と思うこと。それが 頑張ったこと。これ 頑張ったこと。これ</p>	<p>本当に沢山のことを学ばせて頂きました。先生やクラスメイトには感謝しています。これから、頑張りたいと思います。 藤田 将弘</p>	
<p>5年間、みんなと共に学ぶ楽しい時間を過ごすことができました。</p> <p>猪狩達也</p>	<p>友達にかまわれて、とても楽しい毎日を送りました。大変だったこともありますが、すごく良い思い出です。ありがとうございます。 根本 史香</p>	<p>5年間とても充実しました!! 毎日のレクリエーションや同窓会やイベントなど、ありがとうございました!! 松原 尚果</p>	<p>5年間楽しかったです。また皆に会えればいいと思います。ありがとうございます。 浦住 僚</p>	<p>多くを学べたと思います。ありがとうございます。皆さん健康に気を付けて下さい。 三浦 寿徳</p>
<p>とてもたのしかったです。ありがとうございます。</p> <p>小林 将大</p>	<p>"The best of friends must part." 5年間ありがとう!! 仲野 和真</p>	<p>5年間楽しい学校生活を送りました。みんな本当にありがとうございました。 會田 悠人</p>	<p>5年間多くのことを学ぶことができました。かけがえのない思い出です。ありがとうございます。 大平 雅人</p>	<p>皆さんのおかげで高専に通ってよかったと思うことができました。5年間ありがとうございました。 久野 峻</p>
<p>みんなに助けられた5年間です。楯一杯頑張っています!!</p> <p>青木 拓夢</p>	<p>みんなに助けられた5年間です。楯一杯頑張っています!!</p>	<p>すべての出逢いに感謝 國に感謝</p>	<p>とても充実した5年間を過ごすことができました。ありがとうございます。 小松 翔</p>	<p>5年間みんなと勉強できて、とても楽しかったです。これからも仕事や勉強頑張ってください!! 遠藤 達也</p>
<p>勉強面、生活面共にたくさん学ぶことができました。5年間を振り返ると、とても思い出が詰まっています。本当にありがとうございました!!</p> <p>鈴木 真澄</p>	<p>大変だったこともあったけど、5年間楽しい学校生活を送ることができました。ありがとうございます。 鈴木 真澄</p>	<p>みんな ありがとう 保健部 部長(仮) 田澤 春樹</p>	<p>5年間、とても短い！もともと一緒だったけど、先生も友達も後輩もみんなありがとう!!</p> <p>鈴木 真澄</p>	<p>5年間いろいろあったけど、とても短く感じました。とても楽しかったです。ありがとうございます。 中澤 昂大</p>
<p>楽しい5年間でした。これからはみんなと楽しく過ごしたいです。 It's a piece of cake.</p> <p>佐藤 正隆</p>	<p>たくさんのお思い出をありがとうございます!! 5年間とても楽しかったです。あと2年、お世話になります。 桑野 夏希</p>	<p>長いようで短い5年間でした! 関わってくれた方々に本当にありがとうございます!!</p> <p>吉田 美香</p>	<p>この5年で皆と知り合えて、仲良くなって、とても楽しい毎日を送りました。皆ありがとうございます!!</p> <p>橋本 千奈百</p>	<p>5年間毎日楽しかったです。ありがとうございます!!</p> <p>浦市 優美</p>
<p>長いようで短い学校生活でした。とても楽しかったです。ありがとうございます。</p> <p>長瀬 亮</p>	<p>みんなのおかげで楽しい5年間を過ごすことができました。ありがとうございます!!</p> <p>篠部 唯子</p>	<p>5年間、いろいろあったけど、楽しかったです! たくさんのお思い出をありがとうございます!!</p> <p>佐藤 美祐</p>	<p>最初は長いように思えた5年間も、過ぎてしまえばあんなに短い時間でした。みなさん本当にありがとうございます。 山口 美貴</p>	<p>5年間たくさんのお思い出をありがとうございます。とても楽しい5年間でした。 長瀬 亮</p>
<p>もう少し時間がほしかったです。いろいろ惜しいです。</p> <p>若賀 正幸</p>	<p>5年間が、あっという間に過ぎてしまった気がします。みんなのおかげで楽しい思い出がたくさんあります。ありがとうございます!!</p> <p>岩崎 真希</p>	<p>この5年間、色々ありましたが、とても楽しかったです!! どうもありがとうございます!!</p> <p>植松 かつり</p>	<p>5年間とても楽しかったです。長い時間だったはずなのに、あっというまに過ぎてしまいました。本当にありがとうございます!!</p> <p>長谷川 泉美</p>	<p>5年間、留年との闘いでした。何とか卒業できそうです。ありがとうございます!!</p> <p>森 至介</p>

# 建設環境工学科



Department of Civil Engineering

## 輝く人材に

建設環境工学科 5年担任 山ノ内正司

みなさん卒業おめでとう。いつも笑顔が絶えず、にぎやかで、素直で、自分たちのことは自分だという意識が強く、クラス運営がとても楽しかった。これも、田村委員長、我妻・山崎副委員長をはじめとしてクラス役員のリーダーシップのもと、クラス全員が協力してくれたおかげです。4回目の、そして最後のクラス担任となる私にとって、何よりのプレゼントです。毎日皆さんの笑顔を見るのが楽しみなクラスでした。3年間、同じ思い出を共有できたことに心から感謝します。

ある有名な寓話を紹介したい。—ある時、レンガ運びをしている3人がいた。彼らに通行人が「何をしているんだい？」と尋ねた。一人目が答えた。「石運びだよ」次に二人目は、「壁を積んでいるのさ」と。そして3人目が答えた。「聖堂を建て

ているんだ」と。—自分の仕事の本質を深く理解し、広く大きな心を持っている人のことばです。にこやかに、誇らしげに輝いている姿が目につくようになります。

「こんな仕事をするために就職したんじゃない」「こんな仕事なんになるんだ」「もっといい場所で仕事がしたかった」など、社会に出て誰もがいつかはぶつかる壁です。はじめから自分の希望通りの仕事ができる人はそう多くありません。単調で地味なことであっても、広く大きな心で取り組み、輝く人材になってください。いつまでも応援しています。

# 建設環境工学科

<p>高専生活というかけがえのない時間を、忘れずに振り返りたいと思います!! 我妻雄大</p>	<p>この5年間、クラスの皆さんには本当に大切に過ごしました。ありがとうございました。 池田隆</p>	<p>本当に最高の5年間でした。クラスの皆さん、お世話になりました。これからもよろしくお願ひします!! 板倉 彩香</p>	<p>会津の山奥から出てきて早5年...最高の仲間ができて最高の5年間でした。本当にありがとうございました!! 池田隆</p>	<p>白さんに会えて良かったです。本当にありがとうございました!! 伊藤 洋輔</p>
<p>ほんとにお世話になりました。先生方のおかげで人より長く学校にいれました。ありがとうございました!! 岩橋 翔</p>	<p>あつという間の5年間でした。ありがとうございました!! 遠藤 拓哉</p>	<p>クラスみんなのおかげで楽しい思い出をつくることができました。ありがとうございました!! 遠藤 勇</p>	<p>ありがとう!! あつ</p>	<p>5建に~会えて~本当に~良かった~うれしく~うれしく~言葉にできない~ 大沼 駿彦</p>
<p>これから先が楽しみです。誰と会っても今と変わらないまの関係をいよう!! 大平 浩之</p>	<p>楽しい思い出をたくさん作ることで5年間最高の学生生活でした!! 藤平 せき</p>	<p>この5年、最高のクラスの皆さんにたくさん遊んでくれて小田切は楽しかったです!! 本当にありがとうございました!! このクラスで、この皆で、良かった!! 大好き!! 小田切 誠</p>	<p>5建最高!! 小野 豊生</p>	<p>普通の高校では味わうことのできない生活を送ることができて、良い友達にも恵まれました。ありがとうございました。小野 豊生</p>
<p>かけがえのない仲間暖かく見守ってくれた先生方“人”に恵まれた5年間でした。梨奈 これからもずっとよろしくね!! 小野 梨奈</p>	<p>楽しかった5年間...あつという向でした!! 皆との思い出を糧にこれから生きていきます。 草野 郁江</p>	<p>たくさん先生方、両親そして仲間たちにはよく迷惑かけてきました。やはりハイパー5年間です。本当にありがとうございました!! 國井 隆之</p>	<p>この5年間、たくさんの人に支えられ、叱咤激励をたくさん受けて、成長し、自分大きくなりました(継続)!! 本当にありがとうございました!! 東 真</p>	<p>2年間という短い間でしか、楽しい思い出をたくさんつくることができました。心が感謝しています。あつがヒュー!! 齋藤 匠人</p>
<p>大人になっても支えあって、笑いあえる。そんな関係を築いていこう!! 坂口 拓馬</p>	<p>10年後も20年後もその先も、この5年間を忘れません!! 佐藤 淳哉</p>	<p>本当に仲間に恵まれた5年間でした!! 先生方にも大変お世話になりました!! これからもよろしくおねがひします!! 佐藤 翼人</p>	<p>本当に仲間に恵まれた5年間でした!! 先生方にも大変お世話になりました!! これからもよろしくおねがひします!! 佐藤 翼人</p>	<p>2年生の時の雪合戦。低学年女子更衣室。夏休み前の体育後の水遊び。学年行事。球技大会。文化祭。ちまちまごり!!! 佐藤 優海</p>
<p>数多くのことを学べた5年間の高専生活でした。つらいことも多かたけれどみんなのおかげで楽しかったです。 ありがとう!! 鈴木 健太</p>	<p>高専生活で出会った方々、今まで本当にありがとうございました!! みんな素敵な人たちで、たくさん学ぶことができた。ありがとうございました!! 鈴木 智子</p>	<p>5年間先生方には本当に大切にお世話になりました。いつまでも元気でいてください!! 家族や仲間にも感謝し続けたいと思います!! 高木 聖人</p>	<p>先生方には、大変お世話になりました。ありがとうございました!! 田中 秀幸</p>	<p>5年間、たくさんの人にお世話になりました。社会に出て、立派になつて恩返しします!! 田村 啓</p>
<p>このクラスで本当に良かったです。これからもよろしく!! 永沼 諒也</p>	<p>楽しかった!! 中野 夏</p>	<p>5年間という長い期間、沢山のみなさんに大変お世話になりました。この経験を生かして、今後頑張ります!! 茶花 茂樹</p>	<p>高専5年間をみんなのおかげで本当に楽しく過ごすことができました。ありがとうございました。 根本 拓也</p>	<p>5年間、楽しく思い出しながらたくさん遊べました。みんなと出会って本当に良かったです。ありがとうございました!! 根本 まどか</p>
<p>クラスのみんな、先生方、この5年間出会った人みんなに感謝しています! 本当にありがとうございました!! 丹山 あかり</p>	<p>大好き!! 古川 舞</p>	<p>入学前は不安だったけれど、高専はすごく楽しい場所でした!! “みんな仲良くしてね”とありがとうございました!! 松田 紗花</p>	<p>高専生活、色んな人と出会い色んなモノを見てきました。高専での貴重な経験をこの先の生活にいかしていきます!! 眞山 佳幸</p>	<p>たくさんの人に迷惑かけてここまで生きてきました。とりあえず高専は勉強せず遊べ!! 宮澤 貴嗣</p>
<p>5年間本当に良かった。辛い時、苦しい時、楽しい時、嬉しい時、いつもみんなと一緒に歩きました。最高に楽しかったです!! 森谷 成勝</p>	<p>入学当初は、少し寂しかったけれど、卒業までずっと一緒に過ごすことができました。あつという5年間、本当にありがとうございました!! 山口 侑平</p>	<p>たくさんの人々に支えられて、卒業を迎えることができました!! 本当にありがとうございました!! これからもよろしく!! 山崎 翔</p>	<p>人生 吉田 武史 楽しんでます!! 勝 幸</p>	<p>たくさんことを学べた学生生活でした。心に留めて生きていきます。ありがとうございました!! 渡辺 一樹</p>

# コミュニケーション情報学科



Department of **C**ommunication and **I**nformation **S**cience

## 運のいい人、悪い人

コミュニケーション情報学科 5年担任 芥川 一則

卒業生の皆さんは、どちらのタイプと考えておられるだろうか。リチャード・ワイズマンが書いた同名の書籍が出版されているが、一読の価値がある。皆さんが定義する「運」とはどのようなものだろうか。私の定義では「人間の努力では改善できない偶然的な良い出来事」である。具体的には、宝くじの一等賞を当てるようなことである。残念ながらこのような「運」を良くすることは、確率論に従って挑戦回数を多くするほかないようである。

ここで皆さんの今後の生活を考えてみたい。新しい社会に踏み出し、新たな人間関係を構築していくことになる。皆さんが「運」とみなしていることは、私の定義では「縁」とみなされる範疇になる。素敵な彼（女）氏と出会った。良い仕事が

見つかった。これらは「縁」とみなされる。幸運ということを考えてみれば、宝くじの一等賞が当たるより、生涯の伴侶や一生を賭けるに値する仕事に出会う方が、より幸運ではないだろうか。

では、「縁」はどのようにしたら良くなるのだろうか。至って簡単である。第一印象をよくすること、つまり挨拶をしっかりとすることである。全く知らない人間と人間関係を構築する第一歩は挨拶である。今春から社会人になれる方は、入社第一日目に爽やかな挨拶ができるように練習すること、そしてそれを継続することをお奨めしたい。

最後に皆さんのこれからの人生が爽り多いものであることを願って、お祝いの言葉としたい。

卒業おめでとう。

# コミュニケーション情報学科

<p>東京に来た時は連絡ください!! みんなとお酒がのみたいです♡ ありがとう♡ 渡辺恵理香</p>	<p>なんでもかんでも楽しんでたです。みんな、ありがとうごさいます!! 菅野瑛大</p>	<p>あつという間の5年間でした! 高専に来て本当に良かったです! みんなありがとう!! 日野俊輔</p>	<p>5年間ありがとうごさいます!! また逢いましょう! 松本匠</p>	<p>みんなと5年間すごせて、本当に良かったです。これからもうよく頑張ります! 志賀祐香</p>
<p>5年間 ありがとうごさいました! 高専最高!! 佐藤航太</p>	<p>みんなと過ごした時間は本当に楽しかった! ありがとう! それぞれの夢に向かってがんばりましょう! 洲崎翔太</p>	<p>退屈しない5年間でしたせんさー 庄司純子</p>	<p>大切な思い出がたくさんできました。みんな5年間ありがとう! 瀬和麻理奈</p>	<p>5年間 ありがとうごさいました! 高専楽しかったです。良かった良かった。 鈴木雪乃</p>
<p>5年間お世話になりました!! すごく楽しかった! 卒業してもまた皆で会えらいいね(ω)♡ みんなありがとう!! 冨田陽</p>	<p>いろいろなイベントがあったけど、すごく楽しかった!! 5年間ありがとう!! 身体をキープできるとは信じられなくて 小島彩</p>	<p>とても濃い5年間でした。たくさん思い出をありがとう!!! 高森航</p>	<p>5年間ありがとうごさいます!! 卒業したくない! 涙が出ます!! 田中梓</p>	<p>5年間お世話になりました。長い間クラスがえもなく不思議な感じ(ω)♡ お元気で!! 金成理沙</p>
<p>5年間ありがとうごさいました!! みんなかんとて楽しかった5年間でした。 日下由香</p>	<p>5年間ありがとう!! 最高のクラスでした! またいつか皆で集まる日を楽しんでいます!! みんな大好きです!! 小竹森可廉</p>	<p>ふがいないうち委員長として5年間任せて頂きありがとうごさいます!! みんなありがとう!! 大好きです!! 高森航</p>	<p>居心地が良すぎるクラスでした♡ 定期的にクラス会開催しますよ!! 小島彩</p>	<p>5年間、間違ってくれたすべての人に感謝♡ 猪狩摩夕</p>
<p>5年間 お世話になりました! とても楽しかったです。また会いましょう!! 渡邊 智明</p>	<p>5年間楽しかったぞー!! みんな本当に大好きだお笑 折笠善昭</p>	<p>5年間本当に楽しかったです。みんないかに帰ってきた5クラス会しましょう!! 相沢賢吾</p>	<p>今までありがとう!!! みんなと過ごした5年間、本当に楽しかったです(ω) 矢島佳輝</p>	<p>5年間 たのしかったですよ! みんなありがとうごさいました! またあそんでね。永久保美詞</p>
<p>高専楽しかった!! みんな本当にありがとう!! 川野仁美</p>	<p>5年間お世話になりました(ωωω)! たのしい思い出がいっぱいあります。クラス会ぜひ! 仁美のあや♡ 手本夏</p>	<p>5年間(ほんとに)楽しかったです!! なんでもかんでもいろいろあったけど、いい思い出です。笑 みんなありがとう!! 菅野希</p>	<p>5年間毎日楽しかったー! 仲良くしてくれてありがとう♡ お話しが面白いので、皆帰ってきたら話(ωω) 仁美のあや♡ かわい♡ 渡邊 由佳</p>	<p>バカに付き合ってくれてありがとう! もうデブキャラ慣れすぎました。楽しかった! 國分優希</p>
<p>5年間お世話になりました。卒業してもみんなと下さーい。 高橋光</p>	<p>5年間、長いよう短時間!! 楽しい日々をありがとう!! 野木元子</p>	<p>思春期という大事な時期に高専で生活出来た事が僕の誇りです。これからの新生活を存分に楽しみましょう!! 松本知也</p>	<p>5年間 好きだった! 乗り遅れた...かな? 笑 みんな頑張れっ♡ (ωωω) 佐藤恭妃</p>	<p>5年間 ありがとうごさいました。 高橋 寛正</p>

# 祝 修了 機 械 ・ 電 気 シ ス テ ム 工 学 専 攻



## 修了する諸君へ

機械・電気システム工学  
専攻長 鈴木 晴彦

専攻科第8期生、機械・電気システム工学専攻2年生の諸君、専攻科修了おめでとう。全員が学位を取得でき、そろって専攻科を修了できたことを何よりも嬉しく思います。

2年前、みなさんは東日本大震災の影響をダイレクトに受けて、福島高専・専攻科をスタートしました。何かと落ち着かない日々がしばらく続きましたが、自分の将来を見据え、そして特別研究を進めるにあたって、今ある現状を常に意識しながらやり抜いていったものと思います。よくぞ、ここまで自身の研究と進路を切り拓いてきたものだと、大変感心しています。

私が見る専攻科8期生の印象は「とてもフレンドリーだな」というものでした。それは様々な行事での専攻科生の行動、言いかえれば組織力みたいなものとして感じていました。特に特別研究の面においては、それぞれの研究内容は異なるものの、互いが研鑽し合って成長していったと感じます。特研発表会を重ねるにつれ、深まる研究に目を見張るものがありました。

専攻科を修了する今、最後に伝えたいことがあります。みなさんは自分自身の研鑽によって様々な知恵を身につけたのですが、それを経験する場は必然に用意されたものです。友人や恩師が、それを与えてくれたことを覚えていてください。専攻科修了おめでとう。

## 福島高専での7年間を終えて

機械・電気システム工学専攻  
2年 佐藤 義剛

小学校よりも長く通学した高専も今年で卒業となりました。高専での生活は毎日が楽しく、あっという間に過ぎてしまいました。

私が高専を無事に卒業できるのは、面倒を見てくれる先生方や友達に恵まれていたことや部活の存在が大きかったと思います。本科の時に在籍していた研究室の佐東先生が退官となり、別な研究室へ配属となり、少し不安な専攻科での生活が始まりました。しかし、たまに以前の研究室の佐東先生に会うと、お茶をご馳走していただいたり進路の相談を聞いてくださったりと大変お世話になり、不安など一気になくなりました。また、友達の存在も大きく、私1人では、レポートや課題の提出、定期テスト、研究とすべてこなすことはできなかったと思います。特に専攻科に入学してからの2年間は嵐のような毎日で、友達の協力や支えがなければ、心が折れていたかもしれません。本当に感謝しています。

また、研究や勉強などでストレスが溜まったときは部活に行き、体を動かすことでリフレッシュでき2年間体調も崩さず過ごせたのではないかと思います。専攻科に入学してから、あまり部活に行きませんでした。本科時代に一生懸命やっていた本当に良かったと思っています。部活を5年間続けたことによって、頑張り耐え抜く力が身に付き、専攻科では、これを研究などで発揮できたと思います。

最後に在校生の皆さんに私から言えることは、学生時代これだけは頑張ったというものを1つでもいいので見つけて、それを残りの学生生活で続けてみてください。

# 祝 修了 物質・環境 システム工学 専攻



## おいていくしあわせと、 おいていかれるしあわせ

物質・環境システム工学  
専攻長 車田 研一

みなさん、修了おめでとうございます。むろん高専での計7年間は短くはなかったとは思いますが、それ以上にこれからはさまざまなことがあることはまちがいないでしょう。長い先々、けっしてたのしいとはいえない想いをするのもすくなくならずあるとは思いますが、みなさんそれぞれの流儀でのりきっていただきたいと思います。

7年間というのは学生としてひとつの学校にいる期間としては長いほうだと思いますが、しかしそうであってもみなさんは晴れて学校を去っていきます。わたし自身ずいぶん昔となってしまったころのことを思い出してみました。学生としてひとつの学校を去るのには、たとえそのあとに継続する学生生活をおくる人もみなさんのなかにもすくなくならずおられますが、特有の「一回性」があります。学生として学校を去る瞬間にはなにかあらゆる今後のことに関する未知性をいったんはポジティブに色づけしてくれるような追い風が吹くのです。たとえそれが一種の「不安」に類するきもちであっても。そしておそらくこの追い風はあなたのところのなかでも二度とふきません。その追い風を刹那あじわえることに、「学校においていかれる者」としてはつよい憧憬を感じて已みません。みなさんには、ぜひいまは、不安も自負も一緒くたにふくめて、追い風にふかれておいていく気分をあじわってほしいと思います。そしておいていかれるわたしたち教員はおいていかれることを僥倖とうけとめ、真摯にねばりづよくはげんでいくことあるのみです。

みなさんの末永い健康を祈っています。

## それもきっとしあわせ

物質・環境システム工学専攻  
2年 鈴木 誠也

私の福島高専での生活もいよいよ終わりを迎えようとしています。振り返ればあっという間に感じますが、7年という月日は私にとってかけがえのない財産となりました。それはクラスの友達との何気ない毎日、テスト期間中の緊張感と睡眠不足、実験室でフラスコとにらみ合っている瞬間など、挙げればきりがありません。けれど、全て含めて本当に楽しかったと思えることが何よりも嬉しいです。

元来、方向音痴な私が普段から心がけているのは、「目標を持つ」ことであり、専攻科に入学した際には、大学院への進学を目標としました。そして、無事に第一志望の大学院へ合格することが出来ました。当然のことながら、目標を達成するにはそれなりの努力や苦勞が必要となると思いますが、数多の課題やレポートに打ち勝ってきたみなさんならば、きっと大丈夫なはずです。そして道に迷って何をすべきか分からなくなっても、先生方や友達が力になってくれることでしょう。以上が僭越ながらも先輩から後輩へのメッセージです。

慣れ親しんだいわきを離れるのは辛いことですが、将来に対しての不安も少なからずありますが、福島高専での思い出とともに、次の目標に向かって頑張っていきたいと思います。最後になりますが、本科3年生のころから今に至るまで、たくさんのご指導と助言を頂いた青柳先生に感謝の気持ちを示したいと思います。本当にありがとうございました。

# 祝 修了 ビジネス コミュニケーション学 専攻



## 巣立っていく みなさんへ

ビジネスコミュニケーション学  
専攻長 渡部美紀子

ビジネスコミュニケーション学専攻2年生5人のみなさん、専攻科修了おめでとうございます。全員、学位の取得も出来ました。重ねて心からお祝いを言わせていただきます。本当に、おめでとう。

4月から専攻長になった私にとって、この1年間は、ハラハラドキドキの毎日でした。一番の心配は学位の取得でしたが、その他にも提出物の締切、イベントや集会の告知、返信が必要なメールの対応など、専攻科は期限のあるものばかりで、一人の漏れも無いよう腐心してきました。みなさんの方が飄々とマイペースで一つ一つ、こなしていましたね。

みなさんの7年間は、間に震災が入るなど、決して平板なものではありませんでした。本科のときは卒業式もなく、不安な気持ちのまま迎えた4月。5月を待って始まり、何一つ省略されることなく遂行された専攻科生活、慌ただしい2年間だったことでしょう。ひとりひとりの高専での7年間は、それぞれに違う意味を持って大事な青春の一部分であったことと思います。その思いを後進に伝えることも忘れないください。

そして今度こそ、高専生活にしっかりとピリオドを打って、巣立って行ってください。ここで学んで培ったいろいろなこと、学業はもちろん、人とのコミュニケーションの取り方や将来について考えたことなどが、これからのみなさんの人生のどこかで必ず役に立つことを祈っています。

## 高専の思い出

ビジネスコミュニケーション学専攻  
2年 鈴木 達也

高専で過ごす時間が残り少なくなり、ふと高専の敷地内を歩いてみました。磐陽会館、プール、図書資料室、コミ棟前広場、売店。すべての場所に小さな思い出があります。ひとつひとつの思い出は私を成長させてくれた大事なものです。入学当初から今に至るまで、私たちは素晴らしい先生方、先輩、後輩、友に恵まれました。遊びに出かけたり勉強を教え合ったりして、人と人が支え合うことで何が生まれるのかを肌で感じることができました。今こうして無事に社会人になれるのは、支えてくれたみなさんのおかげです。

高専の先輩として、私から後輩のみなさんに伝えたいことがあります。課題やテスト、友人関係など悩みは尽きないと思います。壁にぶつかって泣いたり、自暴自棄になったりするかもしれません。それはそれで構いません。そうなる道を選んだのはあなたです。ですが、だからといって孤独にただ我慢するのではなく、どんなことでもいい、多くの人とたくさん話してください。そしてなんでもいい、挑戦して良い経験をしてください。高専にはいろいろな人がいます。学生だけでもそれぞれの学年によって知識や考え方が全く違います。会話や経験を重ね、お互い刺激し合うことにあなたが成長する機会が必ずあることを忘れないください。そして「今」を楽しんでください。

最後に、社会人として旅立つまで私たちを支えてくれたみなさんに感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。



# 平成24年度 卒業生・修了生の進路状況について

進路対策委員長 山本 敏和

平成24年度の本科及び専攻科生につきましては、(社)日本経済団体連合会が策定しました「採用選考に関する企業の倫理憲章」により、大学、短期大学及び高等専門学校卒業・修了予定者に対する就職「広報活動」が卒業・修了前年度の12月1日以降となりました。これにより、企業の求人活動が従来より2ヶ月遅くなる一方で、「採用選考活動」は従来通り4月1日以降でありました。結果、就職希望学生が就職先を具体的に決定する期間が従来の6ヶ月から4ヶ月に圧縮となりました。進路対策委員会では、平成23年10月から就職ガイダンス、福島高専協力会企業による合同説明会、面接指導講習会、進路別学習を実施して参りました。

24年度本科5年生の就職希望者は111名、専攻科生の就職希望者は16名でありました。企業を取

り巻く状況は厳しいところではありますが、高専には各科の就職希望者の8～20倍の求人を頂き、2月末現在の内定率は本科、専攻科ともに100%となりました。本科から大学、専攻科等への進学者、専攻科から大学院への進学希望者ともにほぼ全員進学先が決まっております。例年の通り、年度末までには卒業・修了生全員の進路が決定する見込みです。ここに至ることができたのは、学生本人の努力がありましたことはもちろんですが、保護者、担任、専攻長をはじめとする先生方の御指導および書類の準備・発送等を担当された事務の方々のご支援の賜であります。

現在、来年度の求人活動が既に始まっております。平成25年度以降も学生諸氏の就職・進学活動が順調に進みますことをお祈り申し上げます。

## 卒業生の進路 (平成25年3月卒業)

( ) は女子学生

区 分	機械工学科	電気工学科	物質工学科	建設環境工学科	コミ情学科	計
卒業生数	42(4)	39(2)	38(16)	43(14)	35(23)	197(59)
進学者数	19(1)	17(1)	17(4)	13(1)	18(7)	84(14)
就職者数	22(3)	22(1)	20(12)	30(13)	17(16)	111(45)
その他	1(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	2(0)

## 専攻科生の進路 (平成25年3月修了)

( ) は女子学生

区 分	機械・電気システム工学専攻	物質・環境システム工学専攻	ビジネスコミュニケーション学専攻	計
卒業生数	8(0)	10(3)	5(3)	23(6)
進学者数	3(0)	4(0)	0(0)	7(0)
就職者数	5(0)	6(3)	5(3)	16(6)
その他	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

# 学生会



## 次世代の学生会へ

学生会長 電気工学科 5年 高橋 雄一

ここにある学生会役員の写真こそがこの1年私  
が取り組んできた証です。

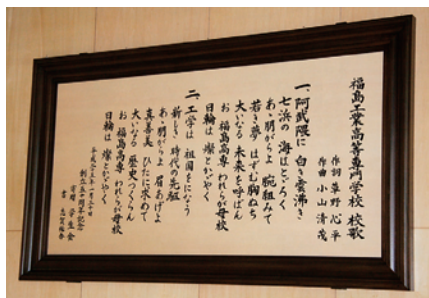
私は、学生会の運営を行う執行部役員  
の構成学年を変えることで、引き継ぎを  
スムーズに、そして次年度に生かすこと  
ができるようにすることを目標に、学生  
会運営を行ってまいりました。具体的  
には、これまで5年生が中心に行って  
きた学生会運営から「低学年も含めた  
複合した学年」で運営を行う学生会へ  
の改革であります。各種委員会から  
始め、最終的には執行部役員  
の構成を変更することが出来ました。  
この改革によって、前年度に運営に  
携わった者が次年度も学生会  
または学校に残るという状

態を作ることができ、運営のノウハウ  
や反省点を次年度に生かすことが  
出来るようになりました。また、  
低学年のうちから運営に携わる  
ことで、次世代のリーダーを  
長期的に育成することが出来る  
ようになりました。この学生会を  
引っ張ってくれるリーダーの  
育成こそが学生会発展の要だと  
確信しています。今後の学生会の  
活躍に期待します。



大川一郎 寄贈  
創立50周年記念  
平成24年度更新 学生会

会運営から「低学年も含めた  
複合した学年」で運営を行う  
学生会への改革であります。  
各種委員会から始め、最終的  
には執行部役員  
の構成を変更することが出来  
ました。この改革によって、  
前年度に運営に携わった者  
が次年度も学生会または学  
校に残るという状



時計と校歌のレプリカは50周年記念で学生会から寄贈しました。

### 平成25年学生会役員一覧

役職	学年 学科	氏名
学生会長	機械工学科3年	草野 翔
学生会副会長	建設環境工学科2年	宮脇 公平
書記	物質工学科3年	小林 翠
書記	機械工学科1年	根本 卓明
書記	物質工学科1年	宗像 繭
会計	機械工学科3年	佐藤 健
会計	コミュニケーション情報学科2年	若松 未来
会計	コミュニケーション情報学科1年	西山 伊代
会計監査	コミュニケーション情報学科3年	猪原 雅代
会計監査	物質工学科2年	齋藤 快
会計監査	コミュニケーション情報学科1年	酒寄 美咲
体育部長	電気工学科3年	大和田遼介
体育副部長	物質工学科2年	佐藤 駿介
文化部長	コミュニケーション情報学科2年	久田宗一郎
文化副部長	物質工学科2年	佐々木美佳
研究部長	電気工学科4年	高橋真奈茄
研究副部長	物質工学科2年	大坪 由貴

※任期：平成25年度（H25.4.1～H26.3.31）  
平成25年3月末時点

# 創立50周年 記念事業を終えて

50周年記念事業実行委員長 山ノ内 正司

昨年10月20日に挙行された創立50周年記念式典、記念講演会、祝賀会の模様は、前号の学校だよりVol. 93でお伝えしましたので、今回は次の3点について報告いたします。



## 1 国際交流基金の創設

記念事業を円滑に推進するために、企業、卒業生を中心に記念募金をお願いしましたところ、目標の3,000万円を超える寄付金が寄せられました。また後援会様からは多額の寄付金を賜りました。深く感謝申し上げます。おかげさまで、記念事業の柱の一つである「国際交流基金」として2,000万円を確保することができました。この基金は、今後学生の海外インターンシップや海外交流の支援に充てられます。

## 2 創立50周年記念誌、記念DVDの限定販売

創立50周年記念誌編集委員会の尽力により、記念誌と記念DVDが完成しました。本校の50年を振り返るのにまたとないものですので、同窓会が保護者向けに磐陽会館の売店で販売することとなりました。記念誌が2,200円、記念DVDは500円です。いずれも限定販売ですので、ぜひお早目にお求めください。

### ◆ 記念DVD

- ・『福島高専創立50周年記念誌』PDF版
- ・東日本大震災の記録
- ・お宝動画集
  - 創立50周年記念式典および祝賀会映像
  - 磐陽の丘50年スライドショー
  - 第1回東北地区高専体育大会（昭和39年）
  - 昭和44年度卒業証書授与式
  - 創立10周年当時の校内風景
  - 平成23年度卒業証書授与式
- ・資料編



### ◆ 創立50周年記念誌

- ・ 学校長挨拶
- ・ 祝辞（歴代校長・協力会長・同窓会長・後援会長）
- ・ 福島高専への熱きメッセージ（OB教職員・卒業生）
- ・ 福島高専50年の歩み（「学校だより」等で振り返る50年・思い出の写真他）
- ・ 福島高専を支える各学科の歩み
- ・ 資料編



## 3 ログマークが決定

応募総数37作品について、厳正な審査の結果、平成23年度コミュニケーション情報学科卒業生の佐藤梨穂さんの作品が優秀賞に選ばれました。福島高専の頭文字Fを未来へ飛翔する羽のイメージでデザインされたもので、5本の白線が5学科を表しています。



# 高専ロボコン2012を終えて

高専ロボコン指導教員 機械工学科 鈴木 茂和

今年度の東北高専ロボコンは、昨年度震災の影響により急きょ開催校を福島高専から八戸高専へ変更したため、本校主管で開催されました。教職員・学生の協力の下で大会を無事終了出来たことに、この場をお借りして感謝申し上げます。

今回は5年生が不在であったことから、来年度のチーム構成を考慮し、4年生と2年生を中心としたチームと、3年生中心の2チームを編成しました。設計力や機械加工技術の不足から、ロボット製作が思うように進まず、大会前日まで組み立て調整が続きました。学生の努力により、大会では学生が設計した通りの動きを見せたものの、残念ながら全国大会へ出場することはできませんでした。

来年度の大会に向けて、ロボット技術研究会の学生は春休み中も、電気制御技術および設計力、機械加工技術向上に向けて活動を続けています。学生の努力の成果が現れるよう指導して行きたいと考えておりますので、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

## 今年の高専ロボコンを終えて

ロボット技術研究会 部長  
機械工学科 4年 飯塚 将太

今年度の高専ロボコン東北大会はいわき総合体育館で行われました。地元開催ということで、学校関係者および地域の皆さんにはたくさんの応援を頂いたのですが、期待に応えることができず、悔いの残る結果となってしまいました。この悔しさをバネに、来年度は地区大会を勝ち抜き、全国大会では福島高専初となる優勝とロボコン大賞を目指して活動していきます。





## 平成24年度磐陽祭を終えて

学生主事補 馬場 蔵人

今年度の磐陽祭は2年ぶりの開催であると同時に、創立50周年を記念する節目の開催に当たり、学生にとって非常に思い入れの深いものとなりました。

今年度磐陽祭のテーマである「We will never stop, ～私たちは止まらない、50年を糧に～」には学生たちの復興への思いと創立50周年という伝統を大切にしたい思いが込められました。2年ぶりの開催ということで戸惑うことも多い中、学生たちは準備段階から一生懸命に取り組み、主体的に行動する姿を目にすることができました。当日の来場者は2,000名を超え、盛況のうちに終了することができ、学生たちの達成感もひとしおだったのではないのでしょうか。

これもひとえに教職員の方々のご協力および保護者の皆様、地域の皆様のご理解、ご協力によるものであり、心より御礼申し上げます。



## 磐陽祭を終えて

磐陽祭実行委員長

4年 機械工学科 佐々木 凌大

平成24年11月3日に「創立50周年記念磐陽祭」を開催するにあたり多くの来場者ならびに地域の方々、企業の皆様の御支援・御協力をしていただき厚く御礼申し上げます。

今年度の磐陽祭は開校50周年記念ということもあり、長い期間をかけて準備から学生全員が協力して創り上げたものでした。来場された皆様、そして私たちの心に深く残ったことと思います。今年度のテーマは「We will never stop～私たちは止まらない、50年を糧に～」でした。50周年の節目の年を糧に震災に負けずに前へ進もうという私たちの想いは皆様に伝わったのでしょうか…？前年度は東日本大震災の影響で開催を断念した分、今年度は2年分の想いが込められていました。

また今年度の磐陽祭はシンガーソングライターである菊池章夫さんにお越し頂き、ライブとトークショーを開催しました。とても和やかな雰囲気と時間を過ごすことができました。その他にも吹奏楽部の演奏、ダンス披露、有志団体のイベント、出店団体の模擬店、そしてクオリティの高いメインアーチやモザイクアートなど細部までこだわって磐陽祭を創り上げました。その結果大成功という形で終わることができました。

来年、再来年と毎年成長した磐陽祭となるよう学生一同一丸となり、努力していきますので今後とも御協力・御支援をお願いします。



# 全国高等専門学校 第23回プログラミングコンテスト

指導教員 コミュニケーション情報学科 島村 浩



今年度は、平成24年10月13・14日に、九州の有明海を望む、かつてのいわき市と同じ炭鉱の町、福岡県大牟田市で開催され、小泉康一先生と引率しました。

本校は、自由と競技の2部門参戦です。自由部門は、人間の動作を読み取るKinectとプロジェクタを使用した壁面用の描画システム「May」を展示。プレゼンテーション、デモンストレーション審査を受け、敢闘賞を受賞しました。読み取り動作の安定性を向上さ

せるためのチューニングが苦労した点です。

競技部門は、散らばったサイコロを数える「数えなサイー Here are Dice! ー」という課題に、「汎用対サイコロ決戦兵器初号機」で参戦。一回戦は6チーム中6位、敗者復活戦は6チーム中3位で、惜しくも準々決勝へ進めませんでした。

来年度は一気に北上、北海道旭川で開催予定です。部員達は、夢の3部門出場を目指して頑張っています。今後も変わらぬご支援をお願い致します。



## 「高専デザコン2012 in 小山」報告

指導教員 建設環境工学科 根岸 嘉和



今年度の高専デザコンは、小山高専を中心に長岡・長野・群馬の4高専が担当校となって、11月10・11日に小山市で行われました。本校は【構造デザインコンペティション】に2チームの作品(写真の上・下)が出場しました。

競技は、ヒノキ材を用いたスパン100cmの単純支持橋模型を、長さ120cm・幅25cm以内で木工用ボンド接合して作成し、指定路面位置中央1点載荷による、耐荷性(60kg直近上位)・軽量性(極力軽く)・デザイン性(美しく)の総合性能を競うもので、参加学生の相互評価点も加味した評価基準のもとに実施されました。

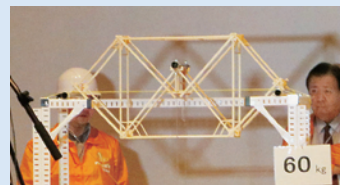
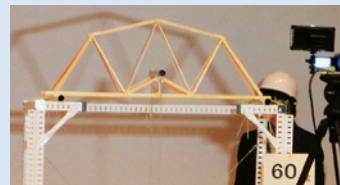
写真に示す2作品は、上:曲弦三角トラスモデル(名称「タモッていいとも!」、制作=2建:遠藤健悟・吉田 菜都美・原田 真衣)(38 / 58)位、下:宙路トラスモデル(名称「イトー ハムッ!」、制作=2建:伊藤 勇輝・田邊 陽)(57 / 58)位です。

これらは、両チームの5名が「ミニ研」での予備研究の上に立って作り上げた成果でしたが、成績的には満足のいくものではありませんでした。

高専デザコンも年々レベルがアップしており、成績の向上を目指すためには、材料に削り・溝切り等の加工を施した薄肉断面材を用いたモデルとした上で、何回もの試作・改良を繰り返す中で、高強度化・軽量化の構造改善を実現させたモデルを作らなければならないことを痛感しました。

来年度も上記メンバーが残り、新たなメンバー(現2建・1建生)が加わったチームを中心に、低学年ながら、この失敗経験を活かし「高専デザコン2013 in 米子」での飛躍を目指して、粘り強い努力をして欲しいと願っています。

また、本校から本デザコンの他部門へは、【空間デザインコンペティション部門】の予選に、○作品名「時」を見守る砂時計」、制作=5建:板倉彩香、○「森に潜む憩いの空間」=5建:伊藤洋輔、○「トロピカルフラワー〜咲き誇る噴水広場〜」=5建:緒方みさき、○「シャッター街のシャッターゼロ化へ」=5建:佐藤淳哉、○「天と地をもつ美術館」=5建:佐藤優海、○「地域と自然が調和した次世代型鉄道駅」=専1CK:加藤湧亮が出場しました。



# 第6回全国高等専門学校 英語プレゼンテーションコンテスト

指導教員 一般教科 石原 万里



1月26、27日に、第6回目の英語プレゼンテーションコンテストがオリンピック記念センターで開催され、本校から、コミュニケーション情報学科4年の目黒茜、佐藤あゆみ、門馬あゆ、の3名が参加しました。本校からプレゼンテーションの部で全国大会に進んだのは初めてです。“Do You Enjoy Learning English?”というタイトルで、コミュニケーションの道具である英語を楽しく学ぶために、授業で、そして自分達自身で、何ができるかを提案しました。惜しくも入賞は逃しましたが、発表が終わった時には、フロアからため息が出るほど好評で、多くの学生、先生から、とてもよいプレゼンテーションだったと声をかけて頂きました。



エントリーを決めた夏休みから4ヶ月間、英語学習の問題点を考え、福島高専生の英語に対する意識調査を行い、試行錯誤しながら構成を作り上げました。今年に入ってからは、何度も発表の練習を繰り返しました。この大会参加を通して、参加メンバー、指導教員ともに、とても充実した楽しい時間を過ごすことができました。10月着任の加藤明子先生、英会話担当の板内キャシー先生にもお世話になりました。

## 第1グラウンドの改修工事を行いました。

東日本大震災で液状化になり、また、雨が降ると水たまりになってしまう第一グラウンドを約4ヶ月をかけて表面の除去と暗渠工事を行い、水はけの良いグラウンドに生まれ変わりました。



着工日 10月31日

完成日 2月28日

### 体育部

#### ◎平成24年度福島県高等学校新人体育大会 県大会

##### ■陸上競技 (男子)

400m H	神部 光 (2 K)	第3位
		(東北大会出場)
200m	古和口 廉 (1 K)	第6位
110m H	神部 光 (2 K)	第5位
棒高跳	赤津 雄介 (1 K)	第5位
やり投	渡邊 隆也 (1 C)	第2位
		(東北大会出場)

##### ■陸上競技 (女子)

円盤投	宮路 しほ (2 C)	第1位
		(東北大会出場)

##### ■ソフトテニス (男子)

団体戦		3回戦敗退
個人戦	赤津 利也 (1 E)	
	武藤 尚樹 (1 K)	ベスト16
〃	佐藤 喜治 (2 M)	
	安瀬 登軌 (2 E)	2回戦敗退
〃	佐野 友啓 (2 K)	
	松本 恭彦 (1 K)	2回戦敗退

##### ■ソフトテニス (女子)

個人戦	西内 瑞生 (1 K)	
	館野 涼 (1 I)	1回戦敗退

##### ■テニス (男子)

学校対抗		2回戦敗退
シングルス	高木 健志 (2 I)	1回戦敗退

##### ■テニス (女子)

シングルス	高橋なるみ (1 K)	第8位
〃	嘉齊 滢 (1 I)	1回戦敗退

##### ■卓球 (男子)

学校対抗		第2位
		(東北選抜大会出場)
ダブルス	安齋 正樹 (1 K)	
	矢内 智大 (1 M)	第3位
〃	鈴木 孝幸 (2 E)	
	金成 憲吾 (2 E)	ベスト8
〃	木田 貴文 (2 C)	
	佐藤 瑞樹 (2 C)	3回戦敗退
シングルス	安齋 正樹 (1 K)	ベスト8
		(東北選抜合宿出場)
〃	木田 貴文 (2 C)	ベスト16
〃	矢内 智大 (1 M)	ベスト16
〃	金成 憲吾 (2 E)	3回戦敗退
〃	佐藤 瑞樹 (2 C)	3回戦敗退
〃	鈴木 孝幸 (2 E)	1回戦敗退

##### ■卓球 (女子)

ダブルス	齋藤佳菜子 (2 I)	
	大浦 悠 (1 K)	第3位
シングルス	齋藤佳菜子 (2 I)	第3位
		(全国選抜大会・東北選抜合宿出場)
〃	大浦 悠 (1 K)	ベスト8
		(東北選抜合宿出場)

##### ■水泳 (男子)

総合順位		第3位
50m自由形	吉田 光義 (1 M)	第25位
〃	森下 英樹 (2 E)	第46位
〃	菅野裕次郎 (2 E)	第48位
100m自由形	山下 秀 (2 M)	第20位

〃	吉田 光義 (1 M)	第23位
〃	森下 英樹 (2 E)	第37位
200m自由形	松田 裕樹 (2 E)	第11位
400m自由形	松田 裕樹 (2 E)	第12位
100m背泳ぎ	生方 歩高 (1 M)	第2位
		(東北大会出場)
200m背泳ぎ	生方 歩高 (1 M)	第2位
		(東北大会出場)
100m平泳ぎ	大友 一生 (2 M)	第1位
		(東北大会出場)
200m平泳ぎ	大友 一生 (2 M)	第1位
		(東北大会出場)
100mバタフライ	山下 秀 (2 M)	第15位
200m個人メドレー	四倉 悠介 (1 K)	第14位
400mリレー		第5位
400mメドレーリレー		第3位
		(東北大会出場)

##### ■水泳 (女子)

100m自由形	大橋 星花 (1 I)	第16位
〃	佐々木夏子 (2 C)	第27位
100m平泳ぎ	佐々木夏子 (2 C)	第14位
100mバタフライ	大橋 星花 (1 I)	第11位
200m個人メドレー	小野 晶子 (2 C)	第4位
		(東北大会出場)
400m個人メドレー	小野 晶子 (2 C)	第4位
		(東北大会出場)

##### ■空手道

男子個人形	岡田 真樹 (2 E)	1回戦敗退
〃	矢内 優 (2 E)	1回戦棄権
男子個人組手	岡田 真樹 (2 E)	1回戦敗退
〃	矢内 優 (2 E)	1回戦敗退

##### ■バドミントン (男子)

団体戦		1回戦敗退
ダブルス	貝沼秀一郎 (2 E)	
	青木健一郎 (2 K)	ベスト8
〃	西田 圭吾 (2 M)	
	星 祐太 (2 K)	1回戦敗退
シングルス	貝沼秀一郎 (2 E)	3回戦敗退
〃	青木健一郎 (2 K)	2回戦敗退

##### ■バドミントン (女子)

ダブルス	薄葉なつみ (2 C)	
	佐川 睦実 (1 C)	1回戦敗退
シングルス	薄葉なつみ (2 C)	ベスト16

#### ◎第57回福島県高等学校駅伝競走大会

男子チーム		第30位
-------	--	------

#### ◎第10回福島県高等学校秋季ソフトテニス選手権大会

学校対抗団体戦		予選リーグ敗退
---------	--	---------

#### ◎第42回福島県高等学校ソフトテニスインドア選手権大会

個人戦	佐野 友啓 (2 K)	
	松本 恭彦 (1 K)	2回戦敗退
〃	赤津 利也 (1 E)	
	武藤 尚樹 (1 K)	1回戦敗退



◎第1回福島空港公園秋季選抜ジュニアシングルス  
テニス大会

女子 高橋なるみ (1 K)  
決勝トーナメント 1回戦敗退

◎第39回福島県ジュニアダブルステニス選手権大会

男子 高木 健志 (2 I)  
菊池 洋輝 (1 M) ベスト16

〃 市川 希 (1 K)  
磐城桜ヶ丘高選手 3回戦敗退

男子 渡部 瞬 (2 E)  
松崎 篤司 (2 C) 2回戦敗退

〃 宮嶋 豪 (1 C)  
斑目 柊哉 (1 C) 2回戦敗退

〃 廣渡 玲竜 (1 M)  
大竹 克也 (1 M) 1回戦敗退

女子 高橋なるみ (1 K)  
いわき秀英高選手 ベスト16

〃 松田 歩華 (1 C)  
草野 有紀 (1 C) 2回戦敗退

〃 薄井小百合 (1 C)  
嘉齊 滢 (1 I) 2回戦敗退

◎第32回福島県春季選抜ジュニアシングルス  
テニス選手権大会

男子 高木 健志 (2 I) 2回戦敗退  
女子 高橋なるみ (1 K) ベスト16

◎第91回全国高等学校サッカー選手権大会

福島県大会 2次大会 1回戦敗退  
1回戦 高専0-3 相馬高校

◎第65回東京卓球選手権大会 福島県予選会

(一般の部) 男子ダブルス  
中丸 智貴 (3 E)  
青木 勇斗 (3 M) 3回戦敗退

〃 安齋 正樹 (1 K)  
矢内 智大 (1 M) 3回戦敗退

(一般の部) 女子ダブルス  
滑川 侑佳 (3 I)  
今野小百合 (3 K) 第3位

(一般の部) 男子シングルス  
〃 安齋 正樹 (1 K)  
決勝トーナメント 1回戦敗退

〃 矢内 智大 (1 M)  
決勝トーナメント 1回戦敗退

〃 中丸 智貴 (3 E) 予選敗退  
〃 青木 勇斗 (3 M) 予選敗退

(一般の部) 女子シングルス  
〃 今野小百合 (3 K)  
決勝トーナメント 1回戦敗退

〃 滑川 侑佳 (3 I) 予選敗退

(ジュニアの部) 男子シングルス  
矢内 智大 (1 M) ベスト8  
木田 貴文 (2 C) ベスト16

安齋 正樹 (1 K) ベスト16  
佐藤 瑞樹 (2 C)  
予選1位トーナメント 1回戦敗退

金成 憲吾 (2 E)  
予選2位トーナメント 3回戦敗退

鈴木 孝幸 (2 E)  
予選2位トーナメント 2回戦敗退

(ジュニアの部) 女子シングルス  
齋藤佳菜子 (2 I) ベスト8

◎2012福島県総合バドミントン選手権大会

男子ダブルス 貝沼秀一郎 (2 E)  
青木健一郎 (2 K) 2回戦敗退

◎第43回東北陸上競技選手権大会

男子4×400m R 予選敗退  
(庄司 陽 (3 K)・久保田祐輝 (3 K)  
吉田 将大 (4 K)・古和口 廉 (1 K))

女子円盤投 宮路 しほ (2 C) 予選敗退

◎第41回東北学生陸上競技選手権大会

男子200m 相沢 賢吾 (5 I) 予選敗退  
男子800m 遠藤 達也 (5 C) 予選敗退

男子走幅跳 吉田 将大 (4 K) 予選敗退

◎第17回東北高等学校新人陸上競技選手権大会

男子400mH 神部 光 (2 K) 第3位  
男子やり投 渡邊 隆也 (1 C) 予選敗退

女子円盤投 宮路 しほ (2 C) 第2位

◎第38回東北卓球連盟強化合宿大会

(男子) 安齋 正樹 (1 K) 第26位  
(女子) 大浦 悠 (1 K) 第36位  
齋藤佳菜子 (2 I) 第51位

◎第36回東北高等学校選抜卓球大会

男子学校対抗 予選敗退  
(予選リーグ第5位)

◎第20回東北高等学校新人水泳競技大会

男子100m背泳ぎ  
生方 歩高 (1 M) 予選敗退

男子200m背泳ぎ  
生方 歩高 (1 M) 予選敗退

男子100m平泳ぎ  
大友 一生 (2 M) 第4位

男子200m平泳ぎ  
大友 一生 (2 M) 第8位

男子400mメドレーリレー 予選敗退  
女子200m個人メドレー

小野 晶子 (2 C) 予選敗退  
女子400m個人メドレー

小野 晶子 (2 C) 予選敗退

◎第49回東北地区高専体育大会福島大会

ラグビーフットボール競技 第3位  
準決勝 福島0-92 八戸

◎平成24年度全日本卓球選手権大会

ジュニア男子シングルス  
矢内 智大 (1 M) 1回戦敗退

◎平成24年度 第40回全国高等学校選抜卓球大会

女子シングルス  
齋藤佳菜子 (2 I) (3/24～開催)

■山岳部

- ・いわき七峰縦走 (湯ノ岳～水石トンネル) 実施
- ・那須朝日岳登山 実施
- ・二ツ箭山登山 実施

■ボクシング競技

平成24年度福島県高等学校新人体育大会  
フライ級Ⅱ部 木田 勇輝 (2 M) 第2位

文化部・研究会・サークル

■写真部

- ・東北地区高等専門学校文化部発表会 写真部門  
小川 大雅 (2 E) 特選  
草野 翔 (3 M) 入選

- 高橋 麗加 (2 E) 入選
- 仁平 成美 (2 K) 入選
- いわき地区高等学校写真展
  - 仁平 成美 (2 K) 特選
  - 高橋 麗加 (2 E) 準特選
  - 草野 翔 (3 M) 入選 (2点)
  - 小川 大雅 (2 E) 入選
- 第31回福島県高等学校総合文化祭写真展 出展
- いわき街なかコンサート in TAIRA 2012 ボランティアスタッフ撮影 実施
- 第2回福島高専写真部街コン写真展 in アリオス (2012. 10. 20-11. 25) 開催
- 福島高専写真部写真集 Vol3 発行
- 古殿町「秋のフォトコンテスト」 応募
- 裏磐梯撮影会 実施
- いわき夏井川・白水阿弥陀堂紅葉撮影会 実施
- 吹奏楽部
  - 第34回定期演奏会 開催
- 美術部
  - 東北地区高等専門学校文化部発表会 絵画部門
    - 福井まどか (4 K) 入選
    - 吉田 新吾 (3 E) 入選
    - 橋内 望 (2 I) 入選
- 茶華道部
  - 第33回いわき学校茶道連盟合同発表会 参加
- 演劇部
  - いわき地区高校演劇コンクール 参加
- 天文部
  - 平成24年度コアSSH発表会 ポスター発表 参加
  - 平成24年度 Astro-HS 参加
  - いわき夜空の明るさ調査およびマップ作成
- ロボット技術研究会
  - ねんりんピック宮城・仙台2012 生活支援ロボットコンテスト
    - 八木田 諒 (1 M)・會田 隆二 (1 M)
    - 鳥羽 祐丘 (1 M) アイディア賞受賞
- ストリートダンスサークル
  - いわき街なかコンサート in TAIRA 2012 参加
- 弓道愛好会
  - 平成24年度福島県高等学校新人体育大会弓道競技 男子個人戦 土井 文晶 (1 E) 準決勝進出
- 分子生物学愛好会
  - 第5回先端ものづくりチャレンジin習志野 知能ロボット競技部門
    - チーム名「堀越くまさんnona」
    - 岩崎 莉歩 (2 C)・西郷 知樹 (2 C)
    - 菅原 佳奈 (2 C)・宗像 繭 (1 C) 本選進出 (アイデア賞受賞)
- ◎ アイデア対決・全国高専ロボコン2012東北地区大会
  - 福島高専Aチーム 「9quick shooter (クイックシューター)」
    - 飯塚 将太 (4 M)・岩本慎太郎 (3 E)
    - 小野 敬裕 (2 M) 2回戦敗退
  - 福島高専Bチーム 「Tree hopper (ツリーホッパー)」
    - 清水 治憲 (3 M)・門井 幸太 (3 M)
    - 星 柁充 (1 C) 2回戦敗退
- ◎ 全国高等専門学校第23回プログラミングコンテスト【自由部門】
  - タイトル「May - Making Angels Yock! -」

- 増子 宏大 (4 M)・青木 僚平 (3 E)
- 永井 智志 (2 E)・馬目 華奈 (2 I)
- 鈴木 侑斗 (1 E) 敢闘賞受賞
- 【競技部門】
  - タイトル「汎用対サイコロ決戦兵器初号機 -さいころを、君に-」
    - 猪野 泰弘 (3 E)・鈴木 涼介 (3 M)
    - 高橋真奈茄 (4 E) 予選敗退
- ◎ 全国高等専門学校デザインコンペティション2012【構造デザインコンペティション部門】
  - 作品名「タモッていいとも!」
    - 遠藤 健悟 (2 K)・吉田菜都美 (2 K)
    - 原田 真衣 (2 K) 第38位
  - 作品名「イトー ハムッ!」
    - 伊藤 勇輝 (2 K)・田邊 陽 (2 K) 第57位
- 【空間デザインコンペティション部門】
  - 作品名「“時”を見守る砂時計」
    - 板倉 彩香 (5 K) 予選参加
  - 作品名「森に潜む憩いの空間」
    - 伊藤 洋輔 (5 K) 予選参加
  - 作品名「トロピカルフラワー〜咲き誇る噴水広場〜」
    - 緒方みさき (5 K) 予選参加
  - 作品名「シャッター街のシャッターゼロ化へ」
    - 佐藤 淳哉 (5 K) 予選参加
  - 作品名「天と地をもつ美術館」
    - 佐藤 優海 (5 K) 予選参加
  - 作品名「地域と自然が調和した次世代型鉄道駅」
    - 加藤 湧亮 (1 C K) 予選参加
- ◎ 第4回東北地区高等専門学校英語スピーチコンテスト
  - 館野 涼 (1 I) 第6位
- ◎ 第6回全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテスト
  - プレゼンテーション部門 参加
    - 目黒 茜 (4 I)
    - 佐藤あゆみ (4 I)
    - 門馬 あゆ (4 I)
- ◎ 平成24年度科学の甲子園福島県大会
  - チーム名「福島高専」 第3位
    - 新川 真弘 (2 C)・齋藤 快 (2 C)
    - 大坪 由貴 (2 C)・本田 一史 (2 C)
    - 角田 元 (2 C)・西郷 知樹 (2 C)
    - 佐藤 瑞樹 (2 C)

## 学会表彰

- ◎ 社団法人日本機械学会 (畠山賞)
  - 吉田 周平 (5 M)
- ◎ 電子情報通信学会東北支部 優秀学生賞
  - 佐藤 大夢 (5 E)
- ◎ 電気学会東北支部 優秀学生賞
  - 大和田卓哉 (5 E)
- ◎ 日本化学会東北支部長賞
  - 桑野 夏希 (5 C)
- ◎ 全国高専土木工学会 (近藤賞)
  - 鈴木 智子 (5 K)
- ◎ 社団法人全国経理教育協会 表彰
  - 猪狩 摩夕 (5 I)
  - 高橋 憲正 (5 I)
  - 松本 匠 (5 I)

# 退職者紹介



機械工学科  
渡辺 敏夫

昭和51年4月本校に採用されて以来37年が過ぎました。当時を思い出すと、教育や研究ができることへの胸の高鳴りを感じながら、新任挨拶をしたことが今でも思い出されます。しかし、研究では学位取得を目指して進めていましたが、なかなかはかどりませんでした。最初は植物の防音に関する研究を進めていましたが、論文を2編ほど書いたあと現象の解明がなかなか進まず、さらに数編の論文を書くには、このテーマでは無理かもしれないと思われ、テーマを変えることになりました。既に10年ほど経っていました。丁度その時、在外研究の機会が得られ、デンマークのオールボー大学へ行くことができました。オールボー大学では低周波音の研究を行っていて、低周波音に関する研究を進めることができました。大学の設備はすばらしく自由に使うことができ、10ヶ月の滞在期間で論文を2編仕上げることができました。この時の論文が後のISO226の参考資料となりました。これを機に低周波音研究を進め学位論文にまとめることができました。しかし、学位を得るにはそれから更に10年かかりました。しかし、振り返ってみるといろいろな楽しい思い出は尽きません。福島高専に来てこの職に就けたことが私にとって最高の選択だったと感じます。いろいろお世話になった皆様に感謝します。



物質工学科  
伊藤 正義

## 高専で退職する

民間会社で24年、転職して福島高専で12年、あわせて36年間の勤務に終止符をうつことになりました。それなりの紆余曲折でしたが、よく言われるように過ぎてしまえば短い期間でした。

民間会社では何人かの高専出身者の方とも一緒に仕事をさせていただき、福島高専ではまさにその渦中にありました。高専生の長所をあげるなら、賢い、実践的、正直、素直、善良が私の思い描くキーワードです。これは大都会では育ちにくい気質に思います。地方における豊かな地域環境がこのような人材を輩出していると感じております。高専での一貫教育の効果もでているのかもしれません。この長所を十二分に活かし、毎年確実に増えていく高専出身者が世に大きくその存在感を示すことを期待しております。

退職を前に複雑な心境ではありますが、今後の展開に夢をいただき進んでいきたいと思えます。長らくお世話になりました。ありがとうございました。



建設環境工学科  
金子 研一

## 行基は土木屋だった

定年を迎え、どうしようかと思っていたところ、岩手県で震災復興の人手が足りないという話がありました。日頃から、土木は人のためにする仕事だと考えていたので、巡り合わせだと思いお受けすることにしました。岩手はいわきと違って、海の復興工事に、ほとんど着手されていません。高台移転の工事もこれからです。そのようなわけで、長年培ってきた技術が役に立てればと思います。

終わってみれば何でもあつという間のことなのですが、高専での7年間も同様でした。300名の卒業生を出したけど、土木のおもしろさがちゃんと伝わったかなと考えてしまいます。記念碑としてあげられるのは、教科書を2冊書いたことかな。これを読んだ国交省の外郭団体の方からホームページに「現場の失敗」を連載して欲しいと依頼されました。高専名の入ったたすきはつながりました。天平時代から未来永劫、土木の仕事は不滅です。地方公務員としての3年間が終わったら、次は何をしているのでしょうか。新しい施工の方法を考えているかな、それとも自然災害の復興ボランティアでしょうか。



コミュニケーション情報学科  
坪井 晋也

## 退職するにあたって

2009年の11月に赴任して、それ以降約3年半の間、福島高専に在籍いたしました。民間企業出身であったことから、最初の頃はいろいろと戸惑うことがありました。ですが、そうしたなかで、周りの先生方や、事務職員の方々に支えられて、なんとかやってこられたことに感謝しています。同時に学生諸君とのいろいろな繋がりを、今後とも大切にしていきたいとおもっています。今後は、外部から福島高専を見守ることになりますが、学生諸君の活躍を楽しみにしています。



コミュニケーション情報学科  
松本 行真

「教員も一生懸命に勉強しないと学生に甘く見られる…。確かそんなことを着任の頃に聞き、高専なところが自分の中学時代の成績ではとても入学できないことを思い出してもあとの祭り。気合いを入れて臨んだ『ビジネス英語II』の授業後、ある学生が来て発したのが「ハードすぎて大変だ。こんな調子でやると総スカンをくらいますよ」。「そんな生意気なこと、先輩や（会社の）上司に言えるか?」と言いつたのがほぼ6年前。そんな彼（＝宮川）も今や某D工業（自動車）で世間知を身につけつつあるサラリーマン3年目を迎えようとしています。

自分自身、優等な児童・生徒・学生からほど遠い存在で小学校から大学まであらゆる先生方に迷惑をかけ、（言っても無駄だと思ったのか）ほぼ放任状態だったこともあり、自分の教育への姿勢も放任になるのは必定だったのでしょう。上記の対応も「教育者」には不適切だったのかもしれませんが。「そんな教育は受けていなかった」と抗弁する手もあるのですが、「職業」として選択したからにはそうはいきません。色々迷走を続けた末にたどり着いた結論は「背中を見せる」。確か、3年目前後だったと思います（大した背中ではないですが…）。

調査研究テーマを与える、フィールドに入って活動する、成果報告を相手方に示し評価・批判してもらう…などを研究室の学生（ミニ研究生から特研究生まで）にやってもらいました。しんどい思いをさせながら、彼ら／彼女らに見てもらいたかったことは何か。調査研究の内容・成果ではありません。「いやあ、先生、それ違うよ」と言われている姿です。教師も批判される。その批判をどう返し、関係をどう構築していくか、もし自分ならどうするか。それを各々で感じとり、考えてもらいたかったのです。

最後になりますが、学生たちには自分の能力を世の中（の発展でも復興でもよい）にどう活かせるかを頭の片隅におきつつ、勉学をはじめとした諸活動に励んでもらいたいと強く願います。それが、能力がある若者の使命だと考えます。頑張ってください！



一般教科（体育科）  
秋山 秀博

この度退職の意を決め、終の棲家を実家である会津へと求めました。数年早くなったのは、柔道競技を専門種目とする者の職業病ともいえるべき（試合における）古傷がからだ中至る所に出て来始めたからです。

振り返れば、早いもので本校勤務がこの3月でちょうど30年になります。前の八戸高専での8年間を合わせますと教員生活38年になろうとしています。本校に配置換えとなった時の印象が強烈でした。多種多様の樹木に囲まれた学舎は、威厳さえ感じた落ち着いた素晴らしいものでした。また、学生達の第一印象が、非常に明るくフレンドリーであったのも鮮明に憶えています。

東北地方でも温暖な地域として『東北の湘南』とも呼ばれるいわきにお世話になり30年、あっという間でした。そしていま、逆に冬の空は鉛色とも表される雪国会津の実家へと終の棲家を求めようとしています。農作業をしながらしばらくの間、古傷の治療に専心し、稽古着を纏えるまで回復したら＜会津の柔道＞と＜村の子ども達＞のために微力を注ぐ覚悟です。

最後になりますが、福島高専の益々のご発展と学生諸君並びに教職員の皆様のご活躍を心よりお祈りしつつ、筆を擱きます、大変お世話になりました。



一般教科（法学）  
木原 淳

このたび、本年3月31日付で本校を退職することとなりました。平成14年4月に32歳で本校に着任してから11年経ちますが、この間、本校教職員の皆様には大変お世話になりました。また教育、校務、課外活動等の経験を通じ、多くの優れた先輩や同僚から有益なご指導を受けることができました。職業人生の中核と言える期間を福島高専で過ごしたことは私にとって大きな財産であり、今後は大学という異なる環境に転出するとはいえ、転出後の任務においてもここでの経験は十分に生かされるものと思っています。

私が着任した時期は高専が独法化される直前であったため、私の高専での経験は高専の激変期とそのまま重なるものといえます。教務手帳を見ますと、平成14年版は、出席簿部分を除くと81ページしかないのに対し、平成24年版では129ページと、1.5倍以上に増加しています。専攻科の設置やJ A B E E 認証等に伴う教務の規格化と合理化が非常に勢いで進行したこと、これに伴う教員の事務作業量の増加は指摘するまでもないことですが、そうした負担がどれだけの教育効果を生んでいるか、現時点では未だ明らかになっていないように思われます。今後はこうした改革や取組みからどれだけの果実を得るかが課題になるのだと思いますが、高専に限らず、これに類する話はどこの大学でも聞かれるようです。厳しく成果を求められる時代になっていますが、皆様のご多幸を祈念しつつ、お互いに乗り切っていきたいと思えます。

長い間、ありがとうございました。



一般教科（英語）  
西山 公紀

福島高専に教官として赴任したのは昭和54年4月で、34年間勤務したことになります。本校では、ラグビー部、剣道部、文化部（美術、演劇、写真部）の顧問となりました。また、学生有志と読書サークルを作り、柏木校長を講師にお招きして読書会を行なったこと（柏木文庫由来？）などは、今でも忘れられない楽しい思い出です。

英語教員として、実用英検やTOEIC試験に携わり、試験官や実施責任者を長く務めてきました。本校は浜通り、いわき地区の英語教育の拠点でもあり、高い語学力を習得した優秀な学生達が各分野で活躍していることを誇りに思います。また特に、英語教育にも深い理解を示され、TOEIC賞の創設やCALLシステムの導入を推進されたお二人の校長（岩松幸雄先生、安久正紘先生）と共に、語学教育の充実のため仕事が出来たことは、私にとって大変幸いでした。その後の卒業生の活躍もこの事なしには決して語れません。

一番印象深い事は、3.11大震災と原発事時の緊急対策で、当時学生主事だった私は、危機管理室で奈良校長のもと緊迫した時間を過ごしていました。今後も、福島復興の人材育成や新エネルギー研究の拠点として、本校が地域の中で信頼され、益々その存在価値を高めていくことを願っております。

最後に、教育に情熱を注がれた敬愛する先輩、同僚、事務官の皆様と共に高専教育に携わることができましたことを、心から感謝申し上げます。

## 新任教職員紹介



物質工学科  
尾形 慎  
(おがた まこと)

2012年11月より物質工学科の教員として福島高専に赴任を致しました尾形慎です。出身は新潟県で、漫画を読むことと散歩をすることが趣味です。

私の専門分野は糖質化学・糖鎖工学で、その名の通り『糖』の研究をしています。普段の生活の中で何気なく耳にする『糖』ですが、実はコーヒーなどに入れる身近な甘味料からインフルエンザウイルスの感染原因に至るまで、幅広く人々の生活に関与しています。今後は、教育・研究を通じて科学の楽しさや新しいことを発見する喜びを一人でも多くの学生に伝えられるように頑張りますのでどうぞよろしくお願いいたします。

## 新規設備紹介

### ■Na I (ヨウ化ナトリウム) シンチレーション カウンター

稼働時期：2011年12月

放射性物質から放出される $\gamma$ 線（ガンマ線）をエネルギー別に測定するもので、 $\gamma$ 線を放出するCs（セシウム）やI（ヨウ素）等の核種の同定と数量（放射能量）が測定可能である。



### ■液体シンチレーションカウンター

稼働時期：2012年8月

溶液状態試料の $\beta$ 線（ベータ線）と $\alpha$ 線（アルファ線）を広いエネルギー範囲において測定可能である。

$\alpha$ 線を放出するPu（プルトニウム）やU（ウラン）等、 $\beta$ 線を放出するSr（ストロンチウム）等の各種の同定と数量（放射能量）の測定が可能である。



### ■誘導結合プラズマ質量分析装置（ICP-MS）

稼働時期：2012年6月

Li（リチウム）からU（ウラン）までのほとんどの元素の定性・定量分析（多元素同時分析）が高感度に行える。

また、質量分析装置により同位体比の測定も可能である。



### ■高純度ゲルマニウム放射線測定器

稼働時期：2012年8月

放射性物質から放出される $\gamma$ 線をエネルギー別に測定するもので、 $\gamma$ 線を放出するCsやIなどの各種の同定と数量（放射能量）の測定が高感度に行える。



## 板東高等教育局長が福島高専を視察されました

文部科学省の板東高等教育局長が10月20日に本校を視察されました。

本校の教育・研究の状況を担当教職員から説明を受けながら、学生寮、実習工場、地域環境テクノセンター、物質工学科などを見学されました。特に平成23年度「大学等における地域復興のためのセンター的機能整備事業」により整備が進められている

スマートグリッド実規模実験装置及び放射線測定装置の視察では、担当教員に活発に質問されるなど今後の活動に期待されていることを寄せられました。視察後、奈良宏一校長が本校の概要、特色ある教育・研究活動の説明を行いました。この視察には文部科学省の秋庭専門教育課長補佐、高専機構本部から木谷理事にも参加頂きました。

放射線測定装置の説明を受ける板東局長（左から2人目）と木谷高専機構理事（左から3人目）



奈良校長からスマートグリッド実規模実験装置の説明を受ける板東局長（右）と木谷高専機構理事（中央）



## 12月9日（日）に、公開講座「防災・減災に役立つGIS（地理情報システム）入門」を開催しました

GISとは、地理情報システム（Geographical Information Systems）の略称で、コンピュータ上で地図を作成したり、解析したりするソフトウェアです。このGISは、教育・研究・行政のみならずエリア・マーケティングや都市計画、交通、環境評価、防犯、防災などに広い分野に利用されています。

津波の浸水域と標高、地形の関係を理解したりしました。また、GISを活用して津波災害時における避難地点までの最短経路の検討も行いました。

本年度の内容は、昨年3月の東日本大震災を踏まえ、世界的に最も普及している汎用型GISソフトウェアであるESRI社のArcGISを使って、防災・減災に役立つ地図の作成を行い、その結果をもとに災害への対応策を考えてもらおうというものでした。

本講座では、対象を中学生から一般社会人までとしていたこともあり、親子での参加や兄妹での参加もありました。参加者の皆さんのなかには少し難しいと感じた方もいたようですが、GISのもつ様々な可能性を感じ取っていただけたと理解しています。

午前中は、GISについての簡単な説明のあと、ArcGISの操作練習やGPS機能を利用した地図作成を学びました。午後からは、GISを活用して身近な地域における災害危険箇所を把握したり、

本校に導入されているGIS関係のソフトウェアは、全国の高専のなかでも、また東北地方の高等教育機関のなかでも充実したものとなっております。今後もGISを活用した地域貢献を行っていきたくと考えております。

なお、本講座で使用した「推定津波浸水域データ」は、株式会社パスコから無償で提供していただきました。

GISによる解析結果の説明



GISを操作する受講者の皆様



## 高等学校等就学支援金

平成22年4月よりはじまりました高等学校等就学支援金は、家庭の状況にかかわらず、全ての意志ある高校生等が安心して勉学に打ち込める社会をつくるため、公立高等学校に係る授業料の不徴収及び高等学校等就学支援金の支給に関する制度です。

国立高等専門学校（第1学年～第3学年）も就学支援金制度の対象となっており、月額9,900円（年額118,800円）の就学支援金が支給されます。支給期間は、原則として通算36月です。また、保護者の所得に応じて一定額が加算される加算支給制度があります。

奨学制度・授業料免除制度・高等学校等就学支援金についてのお問い合わせは 学生課学生支援係まで TEL 0246-46-0734

## 授業料免除制度

授業料の免除は、経済的理由による納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合に、前期・後期ごとに本人の申請（昨年度からは前期の授業料の免除申請の際に併せて、後期の申請も出来ることとなりました。）に基づき選考のうえ、授業料の全額又は半額を免除する制度です。選考は家計・学力・人物について免除選考基準により、学生委員会で審議しますが、自宅謹慎処分を申請前の6月以内に受けた者、原級留置の者、修業年限を越えた者は、病気・留学など特別な事由があると認められた場合を除き免除の対象にはなりません。

授業料免除の申請時期は、前期分は4月上旬、後期分は9月中旬になっておりますが、事前の説明会で免除申請用紙を配布し、あわせて申込み締切り日についてお知らせします。なお、説明会の日程については掲示・放送および学級担任・専攻長からお知らせします。

## 平成25年度 行事予定(前期)

- 4月**
- 2日(火) 開寮(13:00)
  - 3日(水) 入学式(本科・専攻科・編入学生)  
新入寮生歓迎夕食会
  - 4日(木) 始業式  
新入生オリエンテーション  
専攻科ガイダンス
  - 5日(金) 前期授業開始
  - 10日(水) 寮防災訓練(1年)
  - 11日(木) 定期健康診断(臨時休講)
  - 17日(水) 第1回TOEIC-IP試験  
(5年・専2年)  
新入生対象学力テスト
  - 27日(土) 開校記念日
  - 29日(月) 公開授業

- 5月**
- 1日(水) 学生総会
  - 8日(水) 全校・校外清掃日
  - 13日(月)～17日(金)  
専攻科推薦入試・社会人入試願書受付
  - 15日(水) 後援会総会・学級懇談会・寮保護者会
  - 21日(火)～6月3日(月)  
前期中間試験期間
  - 22日(水) 共通科目試験日
  - 25日(土) 専攻科推薦入試・社会人入試
  - 28日(火) 共通科目試験日

- 6月**
- 5日(水) 第2回TOEIC-IP試験  
(4年・専1年)  
追試験提出締切
  - 10日(月)～14日(金)  
専攻科学力入試願書受付
  - 12日(水) 学級委員長との懇談会
  - 22日(土) 専攻科学力入試
  - 26日(水) TOEIC-IP試験説明会(3年)

- 7月**
- 5日(金) 学生臨時休業
  - 5日(金)～7日(日)  
東北地区高専体育大会(仙台広瀬・鶴岡)
  - 8日(月) 学生臨時休業
  - 9日(火) 月曜授業振替
  - 10日(水)～12日(金)  
編入学(推薦)願書受付
  - 15日(月) 化学グランプリ1次選考
  - 20日(土) 編入学試験(推薦)
  - 24日(水)～30日(火) 前期期末試験
  - 30日(火) インターンシップ事前指導会(4年)
  - 31日(水) 集会・教室整備

- 8月**
- 2日(金) 補講日・1日体験入学準備日
  - 3日(土)～4日(日) 1日体験入学
  - 5日(月)～7日(水) 編入学(学力)願書受付
  - 7日(水) 金曜振替授業
  - 8日(木) 寮大掃除
  - 8日(木)～9月24日(火) 夏季休業
  - 9日(金) 閉寮(10:00)
  - 12日(月)～16日(金) 学校閉鎖
  - 18日(日)～19日(月)  
全国高専体育大会(陸上競技)  
(いわき陸上競技場)
  - 28日(水)～30日(金)  
全国高専体育大会(テニス)  
(いわき市平テニスコート)

- 9月**
- 10日(火) 編入学試験(学力)
  - 24日(火) 開寮(13:00)
  - 25日(水) ミニ研究準備・発表会
  - 26日(木) 集会・寮防災訓練・専攻科集会
  - 26日(木)～10月1日(火) 再試験受験願書受付期間
  - 27日(金) 校内体育大会
  - 30日(月) 補講日

## 編集後記

平成24年度の後期分の福島高専の情報を皆様にお伝えして、次年度へ引き継ぐこととなりました。原稿をお寄せ頂きました皆様に御礼申し上げます。ありがとうございました。

内田 修司